



永平寺町

第25号

平成24年2月3日 発行

議会花より



12月定例議会より	2
予算案審議	3~7
各委員会報告	8~9
一般質問	10~25
視察レポート	26
行政チャンネル週間番組表	27
決算特別委員会審査報告	28
編集後記	28

白山遠望(石上から) 撮影:小畑委員



議長
河合永充

皆様におかれましては平素より永平寺町議会に対しましてご指導ご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

現在議会では、「行動する議会」「開かれた議会」「提案する議会」の3本柱で議会運営に取り組んでおります。

11月には、2回目の議会報告会を開催し、7会場で町民86人の方にお越しいただきました。このときの多くの貴重なご意見を、議会や委員会活動及び各議員活動に活かしていきます。また、運営の面でいろいろのご指摘をいただきましたので、その点をふまえ、次回の報告会は更により良い報告会にしていきたいと思っております。

今後も皆様の声に耳を傾け、ご理解と信頼をいただけるよう努め、「町民本位・町民感覚で、活発に議論する議会」にしていきたいと思います。

平成23年第4回永平寺町議会定例会は、11月24日から12月13日までの20日間開催され、慎重に審議しました。

審議された内容は、次のとおりです。

なお、9月定例会において付託されました「平成22年度永平寺町一般会計および特別会計の決算認定」「平成22年度永平寺町上水道事業会計の決算認定」について、決算特別委員会において慎重審議をし、本定例会に審査報告が提出され認定されました。

第4回定例議会議案

承認第 6号	平成23年度一般会計補正予算の専決処分の承認	承認
議案第27号	平成22年度一般会計及び特別会計の決算認定	認定
議案第28号	平成22年度上水道事業会計の決算認定	認定
議案第36号	平成23年度一般会計補正予算	可決
議案第37号	平成23年度国民健康保険事業特別会計補正予算	可決
議案第38号	平成23年度介護保険特別会計補正予算	可決
議案第39号	平成23年度簡易水道事業特別会計補正予算	可決
議案第40号	平成23年度下水道事業特別会計補正予算	可決
議案第41号	平成23年度農業集落排水事業特別会計補正予算	可決
議案第42号	平成23年度上水道事業会計補正予算	可決
議案第43号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第44号	農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第45号	下水道条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第46号	字 区 域 の 変 更	可決
陳情第 4号	地方財政の充実・強化を求める意見書採択	採決
発議第 8号	地方財政の充実・強化を求める意見書	採決
陳情第 5号	緊急事態基本法の早期制定を求める意見書採択	採決
発議第 9号	緊急事態基本法の早期制定を求める意見書	採決

議案への賛否一覧 議席順に掲載 (○賛成 ×反対 一欠席)

※議長(河合永充)は採決に加わりません

	小畑	滝波	金元	齋藤	長岡	原田	川治	川崎	多田	上坂	長谷川	松川	渡邊	伊藤	上田	酒井
議案第27号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○
議案第36号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○
議案第43号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第44号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	×	○
議案第45号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	×	○
陳情第5号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○
発議第9号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○

※承認第6号・議案第28号・37号・38号・39号・40号・41号・42号・46号・陳情第4号・発議第8号は全員賛成です。

11月24日に開会した、平成23年度第4回永平寺町議会定例会本会議において、当委員会に付託されました、議案第36号から議案42号までの7議案について、12月8日に、予算特別委員会を開会し、慎重に審議し、審査をいたしました。

歳入歳出総額、6,375万8千円を追加する、平成23年度永平寺町一般会計補正予算は、本年度の人事異動による人件費と、給与改定に伴う人件費の補正や、防災行政無線設備の点検調査費、コミュニティバス運営事業の債務負担行為、重度障害者の医療費・子供医療費の増額、在宅介護サービスの外出支援事業の拡充、太陽光発電設備補助・合併浄化槽設置補助、スズメバチ駆除費補助金・農業再生協議会補助金・農山漁村活性化プロジェクト支援事業費等の増額、町営駐車場の管理委託料、県営事業負担金の追加、本年7、8月の豪雨による災害復旧事業費

等の補正予算であった。

特別会計補正予算6件については、給与改定等に伴う人件費の補正のほか、国民健康保険事業会計では、療養給付費や出産育児一時金の追加、高額医療費の貸付金、介護納付金等の補正、介護保険特別会計では、介護予防住宅改修費の追加、簡易水道事業会計では、給水管の修繕、下水道事業会計では、公共マス工事費等の増額、農業集落排水事業会計、上水道事業会計では、中部縦貫自動車道工事関連の移設工事設計費等が主なものであった。

審査中、各委員より、細部にわたり質疑があり、その都度理事者よりの回答があった。

以上、7件の補正予算案は、十二分に質疑応答がかわされ、審査されたものであり、審査の結果、いずれも原案どおり可決すべきものと決定いたしました。

平成23年度 一般会計補正 予算案審議

総務課

問 移動系防災無線の点検、さらに同報系の防災無線など、町内全域で調査しているが、今回の大震災や津波災害の教訓から電源喪失時の対応は考えているのか。

答 今回の点検は移動系で、同報系は別に松岡地区での整備、永平寺・上志比のデジタル化を基本計画として作っているところですが、また、支所や車に搭載してある移動系の無線は老朽化しているもので、今回補修を計画しています。

災害時停電への対応では、本庁には発電機が設置されていますが、同報

系全部となると、一度に対応はむずかしく、今後の課題です。

問 今回の東北大津波では消防署員は最新の情報を持たれたこともあり、犠牲者は比較的少なかったものの、地域の消防団員の犠牲者は300名近かった。これは情報が伝わらなかつたことから、ハンデイトランシーバーがあればと教訓化されている。また、出力の大きな広報車もあればと思うが。

答 広報車のスピーカール等の大型化や、ケーブルテレビ等の回線網の利用も検討内容に入っています。

住民生活課

問 先日の総合フェスタの講演料、33万円にしては、一般のお客さんの入りが少なかつた。役場の職員が相当数いた。また、サンサンホールばかりを使いすぎではないか。

答 今後、また検討いたします。

問 まちづくりと暮らしの総合フェスタということだが、暴力団排除も町民に知らせたらどうか。

答 そういった啓発も、フェスタを通じて今後やっていきたいと思っています。

福祉保健課

問 外出支援は75歳以上が該当者。軽度生活援助は、ひとり暮らしということですが、年齢制限は？

答 65歳という決めがあります。

問 外出支援サービスの利用者が増えているようだが、今年の傾向は？

答 21年度は周知が不十分だったので、今年は件数も増えました。今年には昨年より微増と想定しています。年々利用が多くなっています。

問 地域支え合い体制づくり事業を進める体制ですが、社協に委託ののと。単純に委託でいいのか。行政がどう関わるのか。

答 この事業、全部委託しているわけではありませぬ。部分的なものです。主な事業としては、ひとり暮らし老人、高齢者の実態調査、高齢者のマップづくり、今進行中です。

問 独居老人、老々世帯の雪下ろしの料金ですが、業者の請求額がかなり高いと聞きました。助成金があるが、自分で申請できない場合もある。

答 1件当たり1万1千円、2回まで助成しています。単価については面積や雪の量など、いろいろな条件があります。単価設定はむずかしいです。現場に応じてなるべく負担のからないようにとお願ひしているところがあります。

問 1時間いくらという時給にすれば安心です。業者による雪下ろしも行政が世話をする事業として、きちっと位置付けてはどうですか。とにかく高齢者にとっては雪下ろしは切実で、不安な声がたくさん聞こえています。

す。福祉課だけの仕事と
いうことではなく、全庁
的に対応してほしい。

答 昨年の大雪は、業者
もいっぱいということ
で、福祉保健課と社協で
行った件が2件ございま
す。

問 子ども医療費の助成
事業ですが、補正後が追
加1千万円で、7千万円
となり、かなりの比率の
補正額です。要因の確認
になりますか、今後の見
直しを含めてどれくらい
の子どもの数なのか。

答 昨年6月から、小4
から中3まで拡大しまし
た。1千万の補正は、昨
年途中から実施したの
で、伸びがはつきりと見
えてない点もありまし
た。

問 主に、町外の医療機
関への外出支援ですが、
行く場所によって、例え
ば松岡からと、上志比か
ら行くのでは、金額が
違うわけですから、同じ
4分の1の負担では事実
上公平さを欠くのではな
いか。

答 各地区支所で距離数
を決めていますので、ど
うしても距離が遠い場合
は、かなり料金がかかり
ます。ご理解をお願いし
ます。

環境課

問 議会のある度に太陽
光発電の補正が出てく
る。見直しが甘いのでは
ないか。節電が全国的に
言われていることを頭に
入れて欲しかった。

答 原発事故の発生で太
陽光発電に関心が高くな
り、それなりの予算化を
しましたが、結果は予定
した以上の申請となりま
した。

問 電力会社の買電価格
がいつまでもいい値段と
は限らない。町としては
慎重に太陽光発電を扱っ
た方がいいと思う。

下水道課

問 区域外の住宅に対す
る合併浄化槽の補助とい
うことですが、事業認可
区域の見直し、計画の変
更はどうなのか。

答 現在、事業認可区域
は現行で対応していくこ
ととしております。今後、
見直し等の検討を行う状
況となれば、対応を進め
ていきたいと考えていま
す。

問 合併浄化槽の設置に
より、河川などの水質が
守られていくのか。

答 公共用水域の水質を
保全する、水質汚濁の防
止を図る目的で下水道、
農業集落排水事業、合併
処理浄化槽設置の推進が
行われています。合併処
理浄化槽においても、下
水処理施設同様の水質を
確保する厳しい設置基準
が設けられています。

農林課

問 8月豪雨の災害復旧
工事だが、農林関係はこ
の予算で復旧できるの
か。また、工事で改良さ
れる部分はあるのか。工
期はどうなっているの
か。

答 この予算で復旧でき
ると考えています。改良
はありません。あくまで

現形復旧です。工期は3
月の農繁期前を目指して
います。

問 土地改良の事業費確
定により、工事請負費の
減額や、県単林道工事に
ついても減額が計上され
ているが、この不況の時、
町内の中小業者のために
も、残すことなく町内に
使ってもらいたいが。

答 県単土地改良事業で
の減額は、工事場所の変
更によるもので、さらな
る要望ができないため、
減額されました。林道で
は地区要望の減額及び、
県全体の割当て減による
ものです。

問 スズメバチの駆除費
補助、何件あったのか。
業者に頼むと一件、いく
らぐらいなのか。

答 17件の申請がありま
した。業者での平均は、
約2万円で、8千円から
3万円以上というのもあ
ります。

商工観光課

問 門前町営駐車場の管
理契約は、年間委託料で

はなく、収入の4割とい
うことなのか。

建設課

問 上志比地区の河内川
や南河内川の改修計画を
地区住民に説明してもら
いたい。住民の中には、
河内川は今後、改修され
ないのではないかという
不安があるが。

答 これまで河内川の改
修は、国の総合流域防災
事業で行われていまし
た。今後は、県単事業で
進める計画で、地域へは
説明の機会も考えていま
す。

問 県営河川整備事業負
担金の河川局部改修はサ
クラマスの魚道の件では
と思うが、早く進めても
らいたい。

答 魚道整備工事は、集
中豪雨が頻繁にあり、仮
設が流されたりで繰越と
なっています。

特別会計補正予算

国民健康保険事業

問 療養給付費がどんど
ん増え、特に高額医療費
の増が目立つというが、
退職した後、国保に入っ
てきた人たちは、就業中
は定期検診が義務化され
ているはず。その人々も
高額医療の支出というの
は多いのか。その辺は
雇用側の責任ではないの
か。

答 分析はしていません
が、60歳まで働いていて退
職後、時間が取れるとい
うことで医者にかかり、そ
の結果、入院という人も
多くいるようです。

介護保険

問 居宅介護住宅改修費
は年間、何件ぐらいある
のか。さらに障害者への
福祉事業も含めると、ど
の様な数になるのか。

答 介護度1から5まで
の居宅介護者の住宅改修
では、上限20万円で、手
すり、段差改修、トイレ
改修が主なもので、個人

負担は10%です。22年度は29件、今年度は10月末で33件の申請があり、かなり増える見込みみなので、補正予算となりました。

また、要支援の方も対象になり、22年は16件、今年度は10月末で27件の申請となっています。

下水道事業

問 鳴鹿中継ポンプ場の1号、2号ポンプ、同系列で2つの故障というのは、対応が悪いのではないのか。下水道のこともあり、早い時期に議会と相談して修繕を急ぐべきではなかったのか。

答 中継場の2号ポンプは、ポンプ内への漏水やベアリング等の異音もあることから、修繕の予定です。1号ポンプは連結金具の腐食によるボルトの破損部分の修繕です。今後は、早急な対応を図ります。

農業集落排水事業

問 下水道管移設計委

託料とあるが、橋の建設に伴う補償工事でもあることから、上水道での計算と下水道での計算額に差が生じるのはおかしい。町として統一した見解を！

答 国道や県道、また町道に設置の場合、それぞれの道路の占用条件があります。今回は中部縦貫自動車道建設により、国が町に移設を求めてきていることから、占用者が費用を負担するということとなります。庁内での統一した考えも協議していきます。

議案第36号

平成23年度

一般会計補正予算

反対討論 金元 直栄

この時期、経済的にも大変な不況の中で公務員の給与削減は、地域経済に与える影響も大きく、職員の間でやる気の問題にもつながる。一人年間約1万9千円の引き下げは、他の自治体と比べ決して高くない中で引き下げて

あり、この予算案は認められない。

賛成討論

川崎 直文

上程された一般会計補正予算を予算特別委員会十分に審議しました。

・「一般職の給与に関する条例の一部改正」に基づく人件費の補正、民生費の重度障害者（児）医療費、子ども医療費等の助成事業への増額が適正に計上されています。・7月と8月の豪雨で国の災害復旧事業として認められた農地・農業用施設・林道・道路橋梁の災害復旧の工費が計上されています。災害が拡大しないよう、早期の実施を望みます。

以上が主な審査所見です。提出された一般会計補正予算は妥当であり賛成します。

議案第43号

町一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定

県人事院勧告に基づく町職員の給与引き下げ案

問 今回の人勤により給与の引き下げは、職員年間平均で約1万9千円だ。本町職のラスパイルス指数は80%台だったと思うが、どうなっている。民間の給与と格差は正だというのが、地域経済への影響や、あまりに低い民間企業の賃金のさらなる引き下げにもつながるかどうか。

答 これまでの給与改定が、40代50代を中心に引き下げをしてきた。しかし、子育て世代に対してはそれほど改定はされませんでした。給与の引き下げが地域経済に与える影響もあります。県の人事委員会は民間企業とに格差があるため、今回0・29%の引き下げを勧告したものです。

反対討論

金元 直栄

反対の理由は、大企業では大きな利益が上げられているものの、その利益の一部が国民には落ちてこない。その中で地域の賃金体系を支えている一つの柱が公務員賃金であること。また異常に安い最低賃金、本町はラスパイルス指数も80%台と、県内自治体でも低い方となっている中で引き下げについては同意できない。

賛成討論

伊藤 博夫

国の人事院勧告の実施を政府は見送ったことから、県の人事委員会は今年4月の給与において、県内の101の事業所を対象に比較したところ、0・28%（1、067円）下回っておりました。また、県内の市町においても全て改正されており、本町職員給与も県の人事委員会に準じて40歳から50歳を中心に平均0・29%引き下げた給与に関する一部改正す

る条例に対して、賛成するものであります。

議案第44号

町農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例

上志比地区の下水料金の改定

問 上志比地区では、いわゆる下水料金が大幅な引き上げとなる今回の提案、事前に住民への周知や理解を求めることはやっていたのか。また、大幅な引き上げとなることから、何年かけて引き上げていく、緩和期間を設けることを考えるべきではないのか。

答 合併協議の中で下水料金は「合併後5年以内」に統一するとなっていること、さらに住民平等負担の観点から、従量制で統一するものです。この料金改定で約50%の世帯が負担増、残り50%の世帯が減となる試算となっています。

住民への説明は、議会



で認められてからと考え
ています。また、今回の
改定が5年を超えている
ことから、緩和措置は考
えていません。

問 今回、上志比地区で
は平均して33・7%の下
水料金引き上げになる
が、この引き上げ幅につ
いてはどのように考えて
いるのか。

答 今回、上志比地区の
料金は定額制から従量制
に変え、料金算定を行っ
ています。この数字は、
一般家庭ではなく、主に
事業所等の増加率と受け
止めています。

問 合併時に、公共料金
は安い方、もしくは低い
方に合わせるという約束
だったかどうか考えてい
るか。

また、この地区は家庭
用の井戸も多いことが
ら、一気に料金改定をす
るというのではなく、準
備期間も含め町としても
地元と協議し、じっくり
と進めるべきだ。

答 今回の料金統一は、
松岡と永平寺地区はす

に従量制となってい
るこ
とから、これに統一す
る
ものです。合併協議でも
従量制で統一すると
なっ
ていました。

井戸の扱いは、今後条
例改正後、家庭用井戸の
調査をし、下水に流すも
のにはメーターを設置し
ていきます。

反対討論 上田 誠

今回の公共料金改定に
対し、基本的に住民平等
の原則から平準化のため
の統一に反対するもので
はありませんが、3点の
課題で反対の立場をとり
ます。1点目、条例(案)
提出前に住民に対して説
明をし、理解を得る必要
がある。2点目、料金体
系の違いから上志比地区
の半数以上の大幅な増額
と、施行までの期間が短
かすぎる。3点目、周知
と理解を求める立場か
ら、大幅な増額となる場
合は期間を決めた緩和措
置をとるべきである。

反対討論

金元 直栄

合併時、公共料金は安
く、低い方に合わせると
申し合わせたこと。いく
ら料金を統一すると言っ
ても一気に33・7%も
の大幅引き上げは異常で
問題。激変緩和期間も設
けずに進めるやり方は認
められない。

賛成討論

川治 孝行

合併時に三町村に使
用料金に格差があるの
で、合併後5年以内に
統一すると決められてい
ました。今回の料金の統
一は、均衡ある料金体系
で、住民負担を平等にし
る内容です。また、50%
の世帯が使用量が減少す
る試算もあります。料金
の妥当な改正時期でもあ
ります。改正に賛成しま
す。

賛成討論

小畑 伝

平成18年の合併にあ
たり、合併協議会の中で公
共料金の統一を合併5年
以内に行うことを確認し
ています。よって上水道

料金は合併後3年で統一
されています。したがっ
て下水道料金も定額制か
ら従量制への移行が、
約1年ほど遅れてはい
ませんが、住民平等の原則
から、これを平準化して
統一することに賛成しま
す。

議案第45号

町下水道条例の
一部を改正する条例

永平寺地区
下水料金の改定

問 今回の料金改定は、
上志比で平均33・7%の
引き上げになり、一方
永平寺地区は、8.1%の
引き下げとなる。両方の
年間引き上げ、引き下げ
額はほぼ同額となってい
るが、それらも考えて料
金の設定はしなかったの
か。

今回は、松岡地区の
公共下水道の料金に統一
するというもので、金額
ではなく統一としまし
た。

問 上志比地区での引き
上げ総額と、永平寺地区

での引き下げ総額にそれ
程の差はないことから、
永平寺地区料金の引き下
げを3年間で行うことに
し、上志比地区での引き
上げを3年間で行うとし
ても、下水道会計の財政
上はそれ程の収入不足が
生じることはないなら
ないが、そのことは考慮し
なかったのか。

答 今回の改正は、公共
下水道と特定環境公共下
水道の料金設定を統一す
るもので、永平寺地区で
は98・4%の家庭で料金
が下がることになりま
す。

反対討論 上田 誠
議案44号45号は同じ内
容の関連条例(案)であ
るため、事前に住民に説
明と理解を得ること。
一地区(上志比)のみ
大幅に増額となるため緩
和措置が必要。
また、永平寺地区は下
がるからという理由でな
く、両議案は同じ性質の
案件のため反対の立場を
とる。

賛成討論

小畑 伝

基本的に松岡地区の料
金に統一することです。
旧松岡町と旧丸岡町で、
五領川公共下水組合を設
立しています。二つの市
町での料金設定ですか
ら、これに合わせざるを
得ませんので、これの価
格設定に賛成します。

陳情第5号

緊急事態基本法の早期
制定を求める意見書の
採択を求める陳情

反対討論 金元 直栄
内容は自然災害時には
「非常事態宣言」ができ
るように法律を整備しよ
うと、なっているが、
災害時に非常事態宣言が
されると、夜間外出禁止
や言論統制が入って
くる。特に今回の震災や津
波による原子力発電所
事故では、放射能が降り
注ぐ中で情報が提供され
ないことにより、被害を
一番受けたのは地域住民
だ。
議会での十分な論議な
しに、この陳情を採択す

るのは早計だ。非常事態を宣言すると、ボランティア活動すらできなくなってしまう。

賛成討論 伊藤 博夫

自民党・民主党・公明党の三党合意により、「緊急事態基本法」の骨子はすでにできており、平成17年には、通常国会で成立させるとしているが、今日まで制定されずにいる。この度の東日本大震災により、震災被害や津波被害、放射能汚染被害防止措置等、また、外国からの侵略やテロ、騒乱等、国家的緊急事態の法律の不備が指摘されていることから、この「緊急事態基本法」を早期に国会で審議して頂くために賛成するものであります。

発議第9号

緊急事態基本法の早期

制定を求める意見書

問 今回の大震災や津波被害や原発事故の実態を見て、国の法律に不備があるから、緊急事態法を

作れというが、これまで

科学者や研究者からの指摘にも耳を貸さなかったことや、災害や事故後の国や東電の対応に問題があったということであつて、これでは、国の対応を免罪することになる。「緊急事態宣言を発動」して情報統制や人の動きを制限すれば、原発の事故の状況さえ分からなくなってしまうが。

賛成討論

答 今回の災害からは、当初から情報の集中、通信体制や救護体制等さまざまな問題が露呈しています。本県には原発もたくさんあり、日本海では一見平和そうに見えますが、各種問題を抱えていることから、地震などでも緊急出動ができるように整備していただきたというところで提案しているものです。

反対討論

金元 直栄

自然の大災害や原発事故に名を借りた、緊急事態基本法の早期制定を求める意見書を町議会が出

すことには反対です。

理由は、大きな自然災害にも緊急事態法で対処しろというのは、国民に情報も示さない、人の動きも制限して対処しろというもので、これでは今回の災害や事故への対応が後手に回ってきた国のやっていることを免罪することになる。

賛成討論

原田 武紀

大地震や大津波、大規模テロ等、国の存亡にかかわるような有事の際には、例えば、大津波に流された家用車の強制撤去や、弾道ミサイル攻撃を受けた際に、民間の能登空港を国の権限で、国防上自衛隊の前線基地にできる等は、国民保護法制定の際にも議論されましたが、私は当然必要だと思っています。

個人の財産権は、国が存在していることが前提ですから、「緊急事態基本法」の早期制定を求める意見書の提出には、賛成します。ご賛同を!!

議案第27号

平成22年度

一般会計及び

特別会計の決算認定

反対討論 金元 直栄

決算を見て、学校の耐震化工事や子どもの医療費無料化等々、町民に必要な事業も含まれていることは認める。

反対理由は、①人事が公平に行われ、職員的能力が引き出されているとは言えない。②保育などの現場では正規職員が半分以下となつていて、正職員の比率向上が確認されていない。

③町の各種事業について、事業計画やその内容が決まってしまうまで議会にも説明がない。④ハコ物建設などでは住民の声を広く聞くことをやらない。⑤課題も多いため、議会も繰り返して指摘しているが、中期財政計画が示されていない。⑥税では累積滞納額が、町税・国保税合計で2億7千万円にもなるが、死亡や自己破産、行方不明のある中でも、長く不納欠損処理もされていない。

⑦国の交付金による臨時経済対策。本町ではこの金が残つても、地域の経済対策として使われずに、町の基金に積み立てられてしまつている。⑧福祉部門では、各種の福祉事業を町が直接実施するのではなく、多くを他組織に委託してしまつている。⑨消防の体制整備の方向が見えてこない。等の理由で22年度決算を認めることはできない。国保会計 さらに国民健康保険会計では、一般会計から国保税支援の2千万円の繰り入れは評価するが、医療費が高騰する中で、保健事業の強化はどうだったのか。本町には保健師の数が多くよく言うが、町として医療費引き下げに取り組んだのかは疑問。

後期高齢者医療会計 年齢制限ということで、サービスの除外があつたりと、あまりにも差別的な制度のため認められない。早く差別のない制度にすべき。**介護保険特別会計** 最近では、在宅で重度の要介

護者でも、お金がないと施設にも入れない状況がある。また、高齢者の実態からも介護サービスを町直営でやることも必要だと指摘してもその方向が見られない。介護の分野では行政として責任が見られないことから認めることはできない。

以上、以外の会計については今回、反対の対象とはしません。

賛成討論

伊藤 博夫

決算特別委員会での各委員から指摘した事項に對しましては、詳細にわたつて説明を受けており、資料を必要とした指摘事項については、後日に各議員に回答を配布されております。予算執行は公正、適正、効率的に行われており事務処理に携わる人件費の削減や委託料にかかる経費などコスト削減にも取り組み、事務処理についても法的に適切に処理されており、予算執行は適切に処理されており賛成するものであります。

総務常任委員会

委員長 伊藤 博夫

当委員会は12月9日に付託された2件の議案について全委員出席のもと審議いたしました。

○陳情第4号

地方財政の充実・強化を求める意見書陳情について

1 被災自治体に対する復興費については、国の責任において確保し、自治体の財政が悪化しないよう各種施策を十分に講ずること。

2 医療、福祉分野の人材確保をはじめとするセーフティネット対策など、今後増大する財政需要を適格に取り入れ、2012年度地方財政計画・地方交付税総額を確保すること。

3 地方財政の充実・強化をはかるため、国・地方の税収配分5対5を実現する税源移譲と格差是正のための地方交付税確保、地方消費税の充実、国の直轄事業負担金の見直しなど、抜本的な対策を進めること。

○陳情第5号

「緊急事態基本法」の早期制定を求める意見書採択を求める陳情について

東日本大震災の被害や津波被害への対応、福島第一原子力発電所の冷却機能喪失による放射能汚染被害防止措置等の国家的緊急事態への対応において、国民の安全を守るための法律の不備が指摘されており、そこで大きな災害、原子力発電所の臨界事故等や外国からの侵略やテロ、騒乱等、国家の独立と安全における危機、国民の生命・財産が脅かされる重大で切迫した事態に対応するため、緊急事態宣言を発動して政府と地方自治体が一体となって迅速かつ適切に対処する必要があります。国において今度の事態を教訓とし、今後想定されるあらゆる事態に備え緊急事態基本法を早急に制定すること強く要望致したく、意見書を提出するものであります。

審議内容

陳情4号の取扱いについては賛成多数で可決、また、陳情5号については、全会一致で可決し、両意見書共、本会議に提案し、国の関係機関に上げることを決めました。



高速増殖炉「もんじゅ」

産業建設常任委員会

委員長 多田 憲治

当委員会は12月12日提案されている議案について審議しました。

○議案第44号

永平寺町農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例の制定について、平成18年の合併協議会の調整項目として、合併後5年を目途に従量制で統一すると定められており、1年2ヶ月他市町の実例も精査し遅れたが本議会において上志比地区の従来の定額制から使用水量により統一の料金体系を図るもので今後、井戸水の使用家庭の対応また、地元住民への周知を図る為の説明会等の開催時期についても答弁を求め、案件については委員会全員で承認しました。

○議案第45号

永平寺町下水道条例の一部を改正する条例の制定について、同じく、合併協議会の調整項目として合併5年を目途で松岡地区と永平寺地区の料金統一を図るもので委員会全員で承認しました。

○議案第46号

字の区域の変更について、県営土地改良(松岡吉野地区)の圃場整備が完成したので地方自治法により、換地処分にもなう字区域の変更を定めるもので、土地

改良区の役員、関係集落の区長も承諾しており、本件についても委員会全員で承認しました。

○その他

行政より、冬期間の町道除雪対策の計画について、説明があり委員より早朝の出動体制、豪雪地域での将来の除雪対応として、ロータリー車購入についての質問に対し、検討したいとの報告もありました。

また、安全性確保の歩道の除雪、上志比地区踏切内の除雪対応、委員外議員より、えちぜん鉄道志比駅に上がる階段の凍結時等の安全性確保による質問があり答弁を求めました。

また、委員より県道稲津松岡線の供用開始時期、遅れている春日区の松岡小学校前の松岡町道100号線工事の進捗状況、上水道会計の一本化の予定の提示、県道の道路改良費の県と町の負担割合また、松岡地区の震災後の、住宅建築の町有地に、はみ出し部分の今後行政指導について答弁を求めました。



除雪風景

各委員会報告

教育民生常任委員会

委員長 金元 直栄

12月定例会に伴う、当委員会は12月9日委員5名の参加で開催された。定例会議案で、当委員会に付託された案件はなかったものの、

- ・ 子ども議会の開催
- ・ 温泉施設運営の指定管理における運営内容への町の関与に関して
- ・ 地域包括支援センター運営の杜協委託計画について

以上につき、町から報告を受け論議した。▽子ども議会の開催では、議会で論議されているだけではなく、町長も開催を考えていたこと。また、教育委員会も小学校から開催要請のあることが報告され、24年度開催を目指していくことが話された。

▽温泉施設の運営に関して、町側の議会答弁では、指定管理契約後も町から随時、管理業者に対し、運営改善を求められる…としているが、本来の指定管理では、一度契約したらその後の運営は業者の裁量に任せるとというのが主旨ではないのか…との問題提起があった。町からは契約後も随時運営改善を求めることができる…との回答があった。

▽地域包括支援センターの社会福祉協議会への運営委託について
町の高齢者福祉や特定高齢者の選定、介護予防事業等をすすめるため

にと町に設置責任のある同センターを、議会に相談もなく町が話を進めてしまっていること。

・ 高齢者の状況は、町に把握責任があり、個々への対処・対応には客観性が求められることから、一事業者への運営委託には問題がある…等々の疑問が指摘された。

町からは、在宅介護支援センターを現在、社協に委託していることから、包括支援センターを合わせて委託運営することによってさらに効率的になること、さらに町運営の場合、同センターの人員増は望めないものの、社協では人員増も可能として委託したいとの説明があった。

- ▽その他
 - ・ 国保会計と医療費の状況報告を
 - ・ 小・中学校連携と、小学校での英語教育の取り組み
 - ・ 翠荘付近、夕方中学生の待ち合わせ時間帯の混雑
 - ・ 健康づくりで作られた、健康体操を、この国テレビの放送でも利用して普及を

・ 学校周辺の除雪等の意見が出されて説明を受けられた。



包括支援センター

各委員会の議員出欠状況

○：出席 ×：欠席 -：員外 傍：傍聴 弔：弔事

日付	開催委員会等	小畑 傳	滝波 登喜男	金元 直栄	齋藤 則男	長岡 千恵子	原田 武紀	川治 孝行	川崎 直文	多田 憲治	上坂 久則	長谷川 治人	松川 正樹	渡邊 善春	伊藤 博夫	上田 誠	酒井 要	河合 永充	
1	9月27日 議会改革特別委員会	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	9月28日 行財政改革特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	10月3日 議会広報特別委員会	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	10月4日 全員協議会	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	10月4日 決算特別委員会	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	10月4日 消防署統合推進特別委員会	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	10月6日 決算特別委員会	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	10月12日 議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	10月13日 決算特別委員会(現地視察)	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○
10	10月18日 決算特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○
11	10月19日 温泉活用特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○
12	10月19日 消防署統合推進特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○
13	10月20日 全員協議会	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
14	10月20日 決算特別委員会	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
15	10月20日 地域振興研究会	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○
16	10月24日 議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	10月25日 決算特別委員会(まとめ)	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	11月2日 議会運営委員会	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	11月5日 議会と語る会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	11月6日 議会と語る会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
21	11月8日 地域振興研究会(現地視察)	○	×	×	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○
22	11月9日10日 行政視察研修(珠洲市・輪島市)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○
23	11月11日 行財政改革特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○
24	11月13日 議会と語る会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25	11月14日 決算特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○
26	11月18日 議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27	11月21日 全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
28	11月24日 全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29	11月24日 第4回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30	12月5日 第4回定例会(一般質問1日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31	12月6日 第4回定例会(一般質問2日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	12月7日 第4回定例会(一般質問3日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
33	12月8日 予算特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
34	12月9日 総務常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
35	12月9日 教育民生常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
36	12月12日 産業建設常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
37	12月13日 全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
38	12月13日 第4回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	出席回数	28	25	31	27	31	29	26	30	26	19	25	21	31	35	23	28	18	
	会議回数	33	31	34	30	34	32	30	30	31	29	30	30	31	35	24	31	18	
	出席率	85%	81%	91%	90%	91%	91%	87%	100%	84%	66%	83%	70%	100%	100%	96%	90%	100%	

一般
質問

そこが聞きたい! 問&答

16名の議員が町政全般について、一般質問を行いました。
一般質問は議事録に基づき質問議員本人がまとめています。

問

特定用途制限地域の一律指定は、地域の開発を阻害しないか

答

環境の悪化と、危険性のある工場等の建設について規制するものである

問 環境を守るといふことは開発を制限することであり、これ以上開発されたら困ると言う永平寺町西部地区と、過疎化を心配する北地区、東部地区の地域住民の意見に差があるのでは。

町の総合振興計画の中で、若者の雇用、また、町財政基盤の確立を進めるために土地登録制度を構築し、積極的な優良企業の誘致、しいては中部縦貫道IC周辺地域において、新たな産業拠点を形成し企業誘致を進めることにより地域の振興を図ると記載されている。

問 近に大野、福井北が開通する中部縦貫自動車道で、特に上志比IC周辺は、企業から見れば土地も安価で工場・倉庫等の立地条件が最適である。今回の一律の特定用途制限の指定が町の経済向上に、上向いて唾を吐くことにならないか。

町内5ヶ所会場でのような意見が集約され、地域の指定はいつから実施するのか。

建設課長 地区住民から地域の開発を抑制するのではという心配の意見もある。環境を悪化させる建物、また、危険性のある工場建設について規制するもので、永平寺参道地区以外、工場・倉庫等の建設はできる。実施時期は4月1日から施工を目標に進めている。

行ってきた「永平寺線跡地健康ウォーク」のイベント名をもっと誘客できる名前に変更するつもりはないか。例えば「禅の修行道」を強調し、NHKで全国放映された、定期的に短いサクラマス遡上期間を唯一の観光目玉とし、この時期に合わせ健康ウォークを実施すれば、参加者はより感動し、地域の活性化、しいては越前市のコウノトリフィーバーのように、永平寺川はもとより、町内の河川美化の住民意識の啓発が図られるのではないか。

問 永平寺線跡地遊歩道整備も永平寺線廃線に伴う条件整備と認識しているが、地域住民は草が生え荒地になるから取りあえず舗装だけでも行うという感覚で、また、町長もあまりお金を投入しないと答弁しているが、総額2億6千万もの大型予算で、住民に理解されないまま遂行されていくように思う。

問 維持管理の中で、健康ウォーク前の草刈り業務年2回は業者に発注し、当初予算で計上してある維持管理費の消耗品、草刈り燃料等は誰がボランティアで行うのか。

町長はイベントを通じて大本山永平寺の参拝客の増が第一目的と答弁しているならば、従来



多田 憲治 議員

永平寺線跡地遊歩道整備で活性化策を真剣に!

観光資源を幅広く活用した
誘客を目指す

問 永平寺線跡地遊歩道整備も永平寺線廃線に伴う条件整備と認識しているが、地域住民は草が生え荒地になるから取りあえず舗装だけでも行うという感覚で、また、町長もあまりお金を投入しないと答弁しているが、総額2億6千万もの大型予算で、住民に理解されないまま遂行されていくように思う。

地元で永平寺線跡地利活用活性化協議会が発足

しているが、土地買収、街路樹、サイクリングロードの問題も明確でない。

維持管理の中で、健康ウォーク前の草刈り業務年2回は業者に発注し、当初予算で計上してある維持管理費の消耗品、草刈り燃料等は誰がボランティアで行うのか。

町長はイベントを通じて大本山永平寺の参拝客の増が第一目的と答弁しているならば、従来

工事施工時期の関係上、地元での草刈り等の維持管理は実施していない。

跡地健康ウォーキングの参加者は、県内外の鉄道愛好家のリピーターも多く、旅行会社もツアーとして取り組んでいる。今後はサクラマスに関係する団体等とも協議し、観光資源を幅広く活用した誘客を目指していく。



長岡千恵子議員

問 えちぜん鉄道の福井駅高架化で利用促進が図れるか

答 新幹線の福井駅乗入で利用促進

問 えちぜん鉄道の福井駅乗入に関する工事内容についてお伺いします。

商工観光課長 三国芦原線をLRT化して田原町駅から福武線経由福井駅前。勝山永平寺線は高架化して一旦新幹線高架に乗入、新幹線開業後は並行在来線に乗入れる計画です。

問 勝山永平寺線が高架になって利用促進を図ることが可能でしょうか。

商工観光課長 県外のお客様を取り込んでいき、北陸新幹線の福井駅乗入による利用促進を図ってまいりたいと考えています。利用促進策は平成24年度以降の10年スキームの中で検討しながら実施内容をだします。

問 朝夕の利用者は通勤通学で、日中は高齢者です。高架になった場合、エレベーターは時間待ちがあり、通勤通学者には不向きです。高齢者にとって、エスケーターは危険度が高くなります。地域住民の足としてのえ

ちぜん鉄道ならば、高架化することが便利になるとは思えません。むしろ路面電車化した方が利用しやすいのではないのでしょうか。

商工観光課長 LRT化を勝山永平寺線に求めることについては、今後意見を出しながら、えちぜん鉄道とも話していきたい。

ています。一点の内容ではつきりしたことは言えませんが、いずれ、協議を求めながら全体を議論していくようになるうかと思えます。

問 地域住民にとって、高架化する方がいいのか、あるいは路面電車化するのがいいのかわからないことを考えていただきたい。



JR 福井駅高架

観光客の増加を図るには

えちぜん鉄道を利用した観光ルートを構築したい



永平寺線跡地ウォーキング

問 永平寺線跡地遊歩道は平成25年に全線完成、永平寺駅周辺整備事業も同時期に完成します。誘客するための施策をお伺いします。

商工観光課長 えちぜん鉄道を利用した観光ルートも今後構築したいと考えています。遊歩道の利用者を巻き込み、取り込みしながら誘客を図りたい。

問 誘客するには仕掛けが必要だと思います。最初は見込みません

が、継続することで実をつけるように思います。早い時期にプロジェクトを組織してはいかがですか。

商工観光課長 多方面にわたる連携をとっていく必要があると認識しています。

問 永平寺町の特徴的なことをフルに活用して二番煎じにならない。顧客ニーズに合った斬新な仕掛けを企画して誘客に繋げてください。



松川 正樹 議員

問 福井県民は日本一幸せな県民という調査結果が出たが

答 町の良い面をアピールするのは大事です



書籍「日本でいちばん幸せな県民」

問 先日、40の指標で幸福度ランキング「日本で一番幸せな県民」が発表されました。総合点で福井県民が堂々のトップでした。出生率、持ち家率、保育所の収容定員比率、正社員率、完全失業率などが中でも抜群でした。ランクが低いのは、総労働時間、転入率や世帯の交際費らでした。

町長 この福井県がランキング1位というデータは、永平寺町によく似通っています。町の良い面はお知らせするのも大事です。研究、検討していきたいと思っています。

この調査のねらいは、地域の課題をはっきりさせ、地域住民が幸せとなる対策を講じてほしいということですが、この手法を永平寺町でも活用できませんか。福井県のレベルの高さに永平寺町が

問 幼稚園、消防、給食の現場は大変です。いっぱいいっぱいという印象です。学校も消防署も幼児園も、合併統合されています。町の一般職を減らすように扱えないのです。一般職の行政改革とは違います。財政事情もあるだろうが、住民のニーズに応えるためには、正職員を増やすべきではないですか。

計画的に改善していきます

現場の職員体制のあり方を問う。忙しすぎるのでは？



消防士の水難救助訓練

町長 やはり正規の職員は大事だと思います。正規と嘱託の割合は55と45とか60と40が理想だと思います。今は50と50です。昔は80と20だったのですが、とてもそういう時代ではない。0歳児とか時間外などいろいろあるので出来ませんが、改善していきたいと思っています。

小中連携は教科内容まで踏み込んでいるのか

学校の教員が一堂に会して小中連携の会議を開催しています

問 以前より、小から中、中から高、高から大へへの教科内容につながりがないことを心配しています。教科内容がぼんと飛ぶ感じ、連続性が弱いのです。それを埋めるための小中学校の連携を、先生方で勉強会をしていらっしゃるのでしょうか。

教育長 今年7月に先生方が教科書を持ち寄って、小中学校の指導内容の確認、留意したい指導事項などを話し合ったこともあります。



金元 直栄 議員

問

第5期介護保険計画で、町の介護はようになる!

答

高齢者が地域で自立した生活を営めるよう

問 4月から今後3年間の町の介護計画を今作っているが、この5期計画づくりに向け、国が示した介護保険の方向性はどのようなものか。また、計画づくりに向けた高齢者の実態調査から町の課題は整理されているか。

福祉保健課長 国は医療、介護予防、住居、生活支援サービスを切れ目なく提供できる地域包括ケアシステムを目指しています。町の計画策定の課題では、第4期計画の達成度等を検証しており、高齢者の実態調査も実施しました。これを分析し計画に結び付けたいと考えています。

問 地域包括ケアと聞けばいいが、介護度の高い人が特別養護老人ホームにも入れず、地域の人たちが見守れとは、介護



デイサービスセンター

サービス利用の抑制を目指す国の方針だ。現に、介護保険制度になって、本当に特養入が必要ない人も、金のない人は入らず、介護度の低い人が入所しているのが現実だ。

福祉保健課長 施設への入所は、以前の措置の時代とは違い、今は要介護者と施設との契約のため状況はつかめていません。

生活実態から、早急に入所が必要と思える人の数を町はつかんでいるか。

消防体制、いつまでに どういう形で整備するのか

今、機能は十分に果たしている

問 本町の消防体制には問題があると言われて久しく、今では署員の減少で、救急体制すら取れない分署もある。

消防長 本町の消防体制は、デジタル無線電波の状況調査や、災害、救急への適切な対応。限られた人員で消防力を最大限発揮できるように、平成26年をめどにと考えて



永平寺分署の消防車

います。デメリットもありますが、住民の安心・安全へ向け検討中です。

町長 現在、機能は十分果たしており、消防力が落ちたとかは一切ないと思っており、無線のデジタル化の中で考えているところです。

町の保健師を社協採用に するとはどういうことか

一切考えていません

問 町民の健康や地域の保健指導に当たるべき保健師を、社会福祉協議会採用にするという話が聞こえてきたが、これでは町の保健事業そのものを投げ出すことになる。その真意は?

福祉保健課長 どこから出た話なのかよく分かりませんが、地域包括支援センターの社協委託を検討していることからではないかと思えます。町として保健師を社協へ移すということは一切考えていません。



酒井 要 議員

問 合併後人口の減少が続いているが何か対策は

答 若者が定住しやすい環境作りを考えています

問 人口の減少が続いている。特に永平寺地区、上志比地区の減少がはなはだしいと思うが。

時代むずかしいかもしれないが、絶対に何かの対策でやる必要があると思うが。

てとか教育の面で他の市や町と違うやり方をしていくことが大事だと思います。また、高齢者が元

副町長 日本の総人口は平成18年をピークに減少傾向に入っている。人口を増やすことはなかなか容易なことではないと思います。町として、県内に先駆けて子育て支援、医療費無料化等、町民の日常生活に直接的に関係する施策を実施し、その取り組み成果として、22年国勢調査では人口減少率は坂井市に次いで2番目に少ないといった結果になっています。

町長 大変むずかしい問題で、若い人に住んでいただく環境をつくるのがまず一つの大事なことです。子育て

で暮らすことが大事だと思います。定住を図っていたりするように雇用の場を作ることが大事なので、道路の整備をして案外早く福井へ行くことが大事だと思います。

今後とも住環境の整備、雇用の場の確保、道路網の整備とか子育て教育環境の整備とか総合的な施策で若者が定住しやすい環境づくりを考えております。

問 中部縦貫自動車道に上志比地区にインターができて、永平寺地区にも、松岡地区にもできる。一番安価な土地がある上志比地区に工場誘致、今の



町造成の西野中団地の住宅

温浴施設完成後、役場内での各課の携わり方は



永平寺町特産品

問 農業振興地域除外の同意と農地転用の許可がありましたとのこと。そろそろ工事が始まると思うが、完成後どの課がどうかわるのか。現状を聞きたい。

工会や観光物産協会などの協力。生涯学習課では「越しの国伝説」だとか、町民健康ウォークとの協賛。農林課ではJAなどの各種団体が生産するタマネギ、ニンジン、ニンニクなどの特産品、また、葉っぱずし、地アユなど地場産品の即売など、十分検討し、議会のほうにも示していきたいと思っています。

副町長 福祉保健課は、健康教室。商工観光課では、永平寺参拝客、スキー客への施設のPR、恐竜博物館など観光施設のタイアップ、商

工



川治 孝行 議員

問 体育館フロアの滑り対策を

答

安全に競技が出来るよう 維持管理に務める

問 永平寺町内の各体育館では老若男女が健康づくりと、各種大会に向けて日頃練習に汗を流してまいります、学校体育館の利用者数は、約190,000人ですが、その他の体育施設も91,783人の方々が体育館を利用しています。文化祭等の催事後の床は非常に滑り易く大変危険な状態になります。

答 スポーツ愛好者に転倒、捻挫等の怪我の不安を与えない安全で安心して練習が出来る床ワックスを使用し、技術の向上と住民の健康づくりを効果的・計画的に推進し支援する事が必要な事から伺います。



ふれあいセンター体育館

状態のチェック及びイベント後の点検は？

学校教育課長 体育主任が随時チェックしています。

生涯学習課長 職員及び管理人が管理をしています。

問 体育館のフロアのワックスの材料は？

学校教育課長 体育館改修済み6校はワックス掛けはしていませんが、残り4校は体育館用のワックスを使用しています。

永平寺町の観光PRはDVDで

新年度予算で取り組む

統芸能、食文化等をどのようにPRしているのか？

商工観光課長 旅行会社へ必要部数を郵送し、事前学習と言う形でPRしています。

問 観光産業は商業、農林業、教育、運輸等視野が広く即効性もある事から重点施策として、永平寺町内の観光資源を幅広く一目でPRできるものが必要かと思えます。当永平寺町内の情報を町内外に幅広く効果的に発信し、町内の観光資源を総合的に集約したものをDVD化し、観光プロモーション映像を制作すべきかと思いついてお伺いいたします。

各事業課は 来庁者や観光客に本町のPRをどのようになっているのか。

光DVDは 平成18年に作成されたもので既に5年が経っています。又視察等の観光資料として貸し出しを求められた事がありますが現在DVDによる説明はしていません。

問 大本山永平寺に夏休みに学生が1泊2日の座禅の修行に訪れますが、永平寺町の名所旧跡や伝

統芸能、食文化等をどのようにPRしているのか？

商工観光課長 今後は映像、動画による観光PRが必要なことから新年度予算で要望していきたい。

町長 色々な面で必要に迫られているので新年度予算で取り組んでいきたい。

志比地区（門前）に伝わる永平寺神楽



商工観光課 現在の観

※上記以外に有害鳥獣対策の事業内容と指導の整合性について質問いたしました。

回答は地域連携の中で捕獲体制の強化を図るとの事でした。



上田 誠 議員

問 下水道料金の統一は、事前に住民への説明と理解を得てからすべきでないか!!

答 住民平等の負担原則から、使用水量に応じた統一料金をお願いする

問 下水道料金の統一(案)が示された。内容は松岡地区の体系に合わせて標準化するもの。定額制と従量制の違いで、上志比地区で3,500円/32,600円/年増加する所帯は57.2%(4~6人家族世帯同様の半数、10,000円/20,000円/年は25%、20,000円以上/年は10%)である。また、半年後の24年6月より施行となる。公共料金改定では事前に住民の説明、理解を求めているから条例改定をすべきでないか!!

下水道課長 住民平等の負担原則から松岡地区の体系に合わせ使用水量に応じた負担となる。上志比地区1人から3人世帯42.8%は840円/月の減となる。今回事前の説明会はやっていないが、条例改正後には説明会等により周知と理解を求める。

問 増額幅の大きい世帯は、段階的な料金と、期

間を決めた緩和措置をして、理解を求める考えが必要でないか!!

町長 安い料金に合わせる方法は楽ですが、定額と従量制の違いや県内を参考に十分検討した結果、今回の改定でお願いしたい。

1. 1人家族世帯比較

世帯数	件数(世帯)	構成割合	現行料金(円)	平均水量(立方メートル)	統一料金(円)	現行月の負担	構成割合
1人	34	6.6%	1,990円	7.6	1,350円	2,840円	42.1%
2人	134	26.9%	2,530円	14.6	2,280円	2,760円	39.3%
3人	141	28.2%	3,070円	22.6	2,820円	2,890円	41.8%
4人	136	27.2%	3,610円	28.6	3,460円	3,940円	56.2%
5人	113	22.6%	4,150円	36.6	4,000円	4,480円	64.6%
6人	119	23.8%	4,690円	44.6	4,540円	5,020円	72.6%
7人	46	9.2%	5,230円	52.6	5,080円	5,560円	80.6%
8人	12	2.4%	5,770円	58.6	5,620円	6,100円	87.6%

※ 1人家族世帯は基本料金の差(50円)までの超過料金が永平寺・松岡のため

※ 2~6人家族が一般家庭の92.0%(1211世帯/1304世帯)をしめている。

※ 料金比較 -91円 松岡<永平寺
92円 松岡=永平寺
93円 松岡>永平寺

2. 2人家族世帯比較

世帯数	件数(世帯)	構成割合	現行料金(円)	平均水量(立方メートル)	統一料金(円)	現行月の負担	構成割合
1人	129	7.9%	1,970円	8.6	1,330円	2,820円	38.7%
2人	361	22.9%	2,510円	16.6	2,260円	2,740円	37.3%
3人	287	18.2%	3,050円	24.6	2,800円	2,870円	39.3%
4人	266	16.9%	3,590円	32.6	3,440円	3,920円	52.6%
5人	219	13.7%	4,130円	40.6	3,880円	4,360円	58.6%
6人	162	10.4%	4,670円	48.6	4,420円	4,900円	65.6%
7人	88	5.6%	5,210円	56.6	4,960円	5,440円	73.6%
8人	26	1.6%	5,750円	64.6	5,500円	6,080円	82.6%

町民の安全安心のため 消防の統合を早急に!!

新しい機会に 早い機会に 消防の統合を早急に!!

問 町村合併をする前に消防の統合が話し合われたが、①防災道路の確保 ②新設場所の確定 ③町村合併の行方 ④消防の広域化 ⑤通信システムの改良などの課題で、5年を目途に見送られた。現体制の職員の分散により初動体制や技術の高度化の対応、専門制の充実など、災害の複雑化に対応するため消防の統合が急務であり、今までの諸課題は解決と方向性が出ていると思う。早急の統合を!!

特定用途制度地区の指定内容をもっと住民に示して理解と協力を!!

良好な環境の保全とイメージを損なう開発を制限し、町民の理解と協力を進めていく

問 合併して5年経過し、19年に永平寺、上志比地区に準都市計画区域を指定し、新たに特定用途制限地域の指定をする。背景には中部縦貫自動車道の完成、国の景観法の制定により当町は景観行政団体の位置づけとなり、良好な環境の保全とイメージを損なう開発の制限をするものであ



永平寺町消防署 永平寺分署

消防長 現在の1本署2分署体制の限られた人数の中で色々と工夫して最大の効果が発揮できるように最善の消防体制を維持していきたい。一極集中体制でのメリットも考慮しながら26年までに検討していく。

町長 新しい消防体制は非常に大事であり、早い機会に改正を示していく。

建設課長 永平寺町の環境、イメージを守り、損なう開発を制限するものであり、住民に説明、周知を図り理解と協力を推し進める。



伊藤 博夫 議員

問 脱原発・自然エネルギーに対する町長の思いは

答 長年人命に与える影響から新しいエネルギーを

問 当町の位置関係は40キロ〜50キロ圏内に入り、風向きによって放射能は数百キロも離れた自治体にまで及んでいることから、当議会として国や県へ意見書を提出しております。町のトップである町長の思いをお聞かせ願います。

町長 停止中（高経年化）の原子炉の運転や新しい原発は考えられず、人命に与える放射能の影響が長年続くことから、新しいエネルギーを考えていく必要があると思っております。



モニタリングポスト

福井市原目 福井県原子力環境監視センター

問 全国の47都道府県の県議会が賛成18、慎重26県、また、農業団体は反対、産業界賛成、福井県が試算したところ、農業産出額330億円の減で、コメの減少額は307億円と言われておりますが、本町の影響はどのくらいになるのか。

TPPに参加した場合本町への農産物の影響は

農家にとって非常に大きな影響が考えられます

問 全国的に農林課長 環太平洋経済協定（TPP）参加により我が国の農業等に大きな影響を及ぼすと考えられます。関税撤廃による影響試算では米の生産量は90%、大麦は79%減少し外国産に置き換えられます。本町の米の生産は農協



放射能測定器

町の地域防災計画の中

で原子力発電所に対する計画がないため見直す必要があり県に要請、庁舎前に放射能監視モニタリングを設置、地域防災に役立つと思っております。

永平寺町暴力団排除条例を全町民に周知徹底を

町民等に暴力団排除の重要性と理解をさせます

問 町民の安全で平穏な生活を確保し健全化を図るために暴力団排除条例を、今一度分かりやすく説明し周知徹底を。

総務課長 本町の条例の中に違反者には制裁がある禁止措置が6項目、●禁止措置に違反した者に対しては、勧告・公表・命令の行政措置をした上で悪質な違反者に対しては、罰則を科すなど段階的に制裁をかけます。●その事実を自主申告し、今後は行わないとの誓約書を提出すれば、勧告を免除するという制度を設けています。

町民や事業者の方は



永平寺警察署



小畑 傅 議員

問 環境面から見た外来種の扱いは!

答

繁殖状況を調査し
今後も対応していきたい



まん延するセイタカアワダチソウ

問 平成23年は東日本大震災をはじめ、後世に残る自然環境の災害が地球規模で大変多く発生しました。いわゆるCO₂問題など環境破壊に対し、地球が警鐘を鳴らしていると思います。そのような中、近年目につくのが、セイタカアワダチソウの繁殖です。多くの外来種の中でも、どこにでも、一年を通じていつでも見かけ、生息域を増していると感じます。生態系が心配されますが、これの対策をお聞きしたいです。

答 環境課長 セイタカアワダチソウは外来生物法の中の特定外来生物には指定されていません。以前は相当多く見られましたが、セイタカアワダチソウ自体の特性で、繁殖が進みますと自滅するようになり、今はスキの方が繁殖しているような状態です。また、花粉による被害も無関係と聞いています。今後、状況を調査し対応を検討します。

乳幼児に ロタウイルスワクチンの助成を!

最近、厚労省が認可
不確定な部分があり
状況を見ながら検討したい

問 近年、集団で生活する幼児園、小学校などでロタウイルスに感染することが報告されています。症状はノロウイルスに似て下痢状態が長く続き、脳症や腎不全など命にかかわることもあるようです。欧米では数年前からこれのワクチン接種を行っています。経口ワクチンで2回接種しますが、経費が3万円ほどと割高です。家族の負担軽減からこれのワクチン助成をお願いする次第です。

答 福祉保健課長 このワクチン接種対象は、生後6週間から24週までで、料金は2万8千円ほどです。県内の市町においては現在、助成はないようです。それから幼児の予防接種には法律に基づき町が実施する定期接種と、希望による任意接種があります。町が全額費用を負担する三種混合・BCG・ポリオ・麻疹・風疹・日本脳炎ワクチンと、全額または一部負担のヒブワクチン・小児肺炎球菌ワクチン・子宮頸ガン・インフルエンザがあります。その他にも水ぼうそう・おたふく風邪、B型肝炎があります。このように乳幼児期の予防接種の数が非常に多く、接種時期も三種混合・BCG・ヒブワクチンなどとなり、スムーズな予防接種が困難かと思いま



ロタウイルスの電子顕微鏡写真

す。しかし、同時接種が可能とも言われ不確定な部分があり、これらの状況を見ながら検討したいと考えています。

問 本町は県内でも優れた「子育て支援」と認められています。今すぐには言いませんが、取り組みをお願いします。

※その他にも「永平寺観光の再構築はどこに!」を質問しましたが、紙面上、割愛いたします。



上坂 久則 議員

問 24年度の予算編成の考え方、重点施策とは

答 地域防災力の強化と総合振興計画・行政改革大綱の重点施策を計画的に実施したい

問 継続、新規の具体的施策とは。

副町長 教育環境の充実、健康づくり支援、子育て支援、観光振興。新規事業として、地域防災力の強化、定住促進、独自性ある環境施策に取り組みます。

町長 昨年の国勢調査によりますと、県内では坂井市に次いで2番目の人口減少率です。町づくりで一番大事なことは子どもが増えることです。出生、子育て環境の充実と増進を図り、元気な高齢者をつくることです。雇用の創出で定住促進を図りたい。合併特例債の5年延長が見込まれるため、短期・中期・長期の施策を考えたい。財政状況の健全さを維持し事業推進を図りたい。



子ども達の健全育成で文化的な事業に助成すべきだが十分検討したい

問 課外活動の現状と考
え方は。
学校教育課長 小学校では上志比小学校のスポーツ推進事業、松岡小学校の器楽部活動です。課外活動以外でもスポーツ少年団や公民館の文化系活動をしている児童もいます。

生涯学習課長 太鼓・書道・英会話等の文化系、空手・バトントワリング・チアダンス等、少年団に属さないサークルの完全な自主的な活動団体もあります。

問 グローバルな人づくりには、日本文化の習得は欠かせない。組織づくりや活



マツオカメジャレッツ

問 子育て支援関係の嘱託職員の待遇の現状について、時給は安すぎないか。

子育て支援課長 順法に沿った人員配置をしています。賃金の支給は時給900円です。

問 直しも実施しています。と、上志比支所のトイレ改造の必要性は。

町長 支所が存在する限り非常に大事なことであり、十分検討していきたい。

総務課長 近隣の市町に比べても相当な待遇がなされています。毎年見



チアダンス松岡教室



渡邊 善春 議員

問 永平寺町の人口減について

答 交通環境面の充実を図る

総務課長 基本的に町立図書館あるいは松岡小学校の地域は、松岡地区の文教地域です。そのような観点から、出来るだけ近距離の方は徒歩等で来館され、遠距離の方については駐車スペース



永平寺町立図書館（松岡地区）

のことが原因ではないのか。

問 最近、松岡図書館の利用者が減少しているそうだが、駐車場が少な

いように感じられる。そのことが原因ではないのか。

駐車場の確保に配慮する

永平寺町立図書館の利用者減について

副町長 合併後から今年の4月現在を比較すると、163人減の3375人となり、率にして46%減となっています。今

後さらに宅地造成の住環境の整備や、雇用の場の創出、また、道路網の整備、子育て支援、教育の充実を図り、総合的に人口減社会における行政として、努力していかねばならないと考えています。

問 最近上志比地区において10数年の間に10%以上の人口が減っている情報を得たが、事実かどうか。

後さらに宅地造成の住環境の整備や、雇用の場の創出、また、道路網の整備、子育て支援、教育の充実を図り、総合的に人口減社会における行政として、努力していかねばならないと考えています。

問 公民館の施設も古くなっているが、管理状態が非常に悪い。社会教育の殿堂として整備し直し、公民館としての機能を再構築してはと考えるかどうか。

教育長 耐震計画も含め、生涯学習の場として関係部署と協議しながら検討していきたい。大々的な補修はなかなか困難と考える。

松岡公民館のリニューアルについて

耐震計画等も計画中

芝原用水工事現水路と神明2丁目旧町営住宅跡地について

環境面、安全面等

充分国と協議する

問 芝原用水の下をシルド工法により工事を

するようになっている。ある部分その上部はそのまま元の水路として残そうだが、これでは安全面、また維持管理面で課題が残るのではないかと。また、旧町営住宅跡地を現在工事関係者が利用しているが、この跡地を含めてこの地域をどのように活用・開発するのかわかる。



神明2丁目町営住宅跡地



滝波登喜男議員

問 温泉施設、町民のための施設なの？

答 プロジェクトチームをつくり、具体的な取り組みを

問 事業者の提案は、利用者66、000人中、町民は35、000人と想定しているが、町はどれくらいを目標としているのか。

副町長 一人でも多くの方に利用していただくことが大原則です。そのために指定管理者を導入しましたし、庁内にプロジェクトチームを作り、各課がいろいろなかかわり方を考えています。これから具体的にまとめていきます。

問 上志比地区の活性化について、具体的にどうやっていくのか。

健康施設室長 施設の軽食コーナーでの地産地消への取り組みや農商工ブランド発信協議会とタイアップし特産品の開発販売、地元の特産物や特産品の店頭販売など、施設運営者と共同しながら地域の活性化につなげてい。



健康福祉施設造成工事

道の駅構想を明らかに

道路情報施設や

地域振興施設など

問 道の駅を温泉施設の場所と考えているようですが、どこまで進んでいるのか。土地の確保、施設の建設、維持管理が町負担になるか。

建設課長 駐車場、道路情報施設、トイレ等は県が、地域振興施設は町が、それぞれの土地および建物を

松岡公園整備は特色をもたせて誘客を

古墳や自然を生かしたものに



整備前の松岡公園

問 松岡公園は北陸最大級の古墳群の玄関口である。その特徴を生かして整備する必要がある。特色のある公園にしなければ、人は訪れない。

建設課長 費用対効果の調査も高く、町中にある公園としての利便性や自然空間の魅力の高さは非常に評価されています。古墳群とのつながりを持たせることが必要と思っています。また、良好な自然資源を生かした野外レクリエーション活動のできる空間を創出し、町内外から訪れたい公園として再生したいと考えています。

永平寺口駅整備でにぎわい創出できる？

地元まちづくり協議会などに期待

問 永平寺口駅整備では、道路の整備、レンガ館や駅舎の有効活用で、果たしてにぎわいある駅前になり得るのか、疑問を持っている。具体的な計画を。

副町長 東古市区のまちづくり協議会や地元商店街さんに参画していただき、広場や交流センターを核としての主体的な活性化に向けた取り組みが今後の重要な課題です。



原田 武紀 議員

問 来春から実施の「介護保険法」の改正から、本町では介護サービスがどのように変わるのか

答 在宅介護の支援策で、低所得者家庭に慰労金の支給を検討しています

問 昨年6月に「介護保険法」が改正され、その施行日は平成24年4月1日となっています。その目玉は、①重度者を初めとした要介護高齢者の在宅生活を支えるため、24時間対応の定期巡回、随時対応サービスの創設。②従来の地域密着型の介護サービスと訪問看護サービスを合体する複合型サービスの創設であり、在宅介護サービスの充実が基本であるとのことだが、本町の在宅介護強化の具体策を聞きたい。



鳴鹿山鹿の居宅介護施設「ほっこり」

答 ①は、従来から実施されている在宅福祉の充実、配食サービス、寝具洗濯サービス、外出支援サービス、軽度生活支援、介護用品支給事業、地域ふれあいサロン事業、女性ほっとひといき支援、屋根雪下ろし支援等をさらに充実する。また、小規模多機能型居宅介護施設（「ほっこり」）の開設支援と、重度の介護者を在宅介護としている低所得者家庭に対する慰労金の支給を現在検討しています。

「防災士」資格取得の助成で、自主防災組織の強化を図ってはどうか

他市町の動向も踏まえ、十分検討していきます

問 「防災士」は民間の資格であるが、社会的に広く認知されていて、東日本大震災後、全国的に資格取得の動きが広がっている。本県でも勝山市が市主催で受講料の一部を助成して、積極的に資格者の養成を行っている。本町でも自主防災組織の強化やリーダー育成の観点から、町民の「防災士」資格の助成を図ってはどうか。

答 「防災士」は民間資格を取得されています。自主防災組織の中でリーダーシップを発揮していただくことが大変有意義であると考えていますので、資格取得の助成は十分検討させていただきます。

消防長 本町では6名の方が「防災士」の資



自主防災組織の講習会

来年度からの「中期財政計画」では、どのような大型工事の予定があるのか

防災行政無線の整備、消防救急無線のデジタル化、役場庁舎の耐震化等を考えている

問 基金（貯金）積立も含めて合併特例債の活用策は。
副町長 合併特例債発行期限の延長が決まれば、平成27年度までが32年度までに延長されるので、その活用等も十分精査して対象事業を決定します。



齋藤 則男 議員

問 平成24年度の予算編成基本方針は

答 永平寺の魅力向上政策の推進を図る

問 これから編成作業にあたる、平成24年度の当初予算についての基本となる方針は。

副町長 第2次行政改革大綱と、総合振興計画を踏まえ、重点施

策の着実な推進、現下の経済情勢や大震災などを考慮した緊急的、政策的課題への的確な対応、持続可能な財政基盤の確立に向けた行財政改革の推進、町民の力が発揮できる活力ある地域づくり、これらの4つの柱を掲げ、教育環境の充実、健康づくりへの支援、未来の子どもたちへの応援、農工商と連携した観光振興に加え、新たに地域防災力の強化、住み続けたいまち事業、定住促進、地域の独自性



産業フェア

のある環境政策、これらを重点施策に位置づけた永平寺の魅力向上政策の推進を図ることといたしております。

問 各種団体等の補助金や助成金について、見直しをされるのか、現状のままなのかどうか、また、委託料等については、その実態や実績に応じ、十分に状態を把握した予算を計上されるのかどうか。

副町長 各種補助金、団体補助金につきまして、費用対効果、補助金

の使途や決算状況を十分に認識いたしますとともに、運営補助から事業補助への補助制度の転換を図るよう指導するなど、予算編成要領の中で各課に周知をいたしております。

子育て支援の施策に工夫を

住民ニーズにそった支援の拡大を図ります

問 新生児や乳児、また、出産を間近にしている妊産婦に対する子育て支援についてですが、一昔前は家族が同居し、家族、兄弟も多く、その子育てでも親やおばあちゃん、そのまたおばあちゃんから、数多くの子育てを助けた経験が次から次へと伝え、教えられながら子育てをおこなってきた。しかし、今日、核家族化の進行と共に少子化が進み、子育てに関する経験や知識が不十分なのではないでしょうか。今の町の状況を見ると、各種の相談をいつでも受ける態勢は出来ていると

す。委託料につきまして、公正性、経済性、そして確実性の観点からその内容について十分精査をいたしまして予算措置をしております。



永平寺保健センター子育て支援

そこで、子育て支援課に、保健師もしくは子育て支援の専門の職員を配置し、新生児や生後6ヶ月月ぐらいまでの乳児を持つ親や家庭に対し、また、出産を間近に控えた妊産婦さんに対し、直接家庭に訪問し、相談に応じたり、いろんな指導をする等の活動をできないものかどうか。積極的に出かけることにより、よりきめ細やかな子育て支援の施策を、と思っております。どうか。

子育て支援課長 福祉保健課などの関係課と連携いたしまして、住民のニーズを図りながら子育て支援の拡大を積極的にはかっていきたいと思っております。

※以上のほかに、福祉行政について（心身障害者の施策について）冬期間における、雪害の対策は万全か、についての質問もいたしました。



川崎 直文 議員

問 「まちづくり組織」の早期設立を

答 地域で「まちづくり組織」を立ち上げ、町が支援する



問 永平寺町都市計画マスタープラン（平成22年の3月に公表）に「地区のまちづくりを担う自主的な組織と行政の協働の仕組みを創設する」とあります。どのような組織、協働なのか、そして進捗状況について伺います。

副町長 まちづくり組織は既存の自治会、振興会などで、行政と協働して事業の段階から話を進めていきます。

永平寺口駅周辺整備事業では東古市区まちづくり協議会が設立され主体性を持って取り組んでいます。永平寺線跡地遊歩道整備事業では永平寺線跡地利用活性化協議会が、計画の策定段階から携わり事業を進めています。

町民に事業計画を事前に示してほしいとの意見があります。プランのまちづくり組織の設立スケジュールでは遅すぎます。

来年度の設立が望まれます。

問 都市計画マスタープランの地区別まちづくり構想は各地区でどのように活用されているのでしょうか。

建設課長 永平寺口駅周辺整備事業、永平寺線の跡地遊歩道整備事業はプランの先導プロジェクトとして取り組んでいます。

地区別まちづくり構想を地域の皆様と協議し、どのようなものが実施できるか検討してまいります。

問 まちづくり組織が、まちづくり構想を見直しながら地域の優先事業を推進しなければなりません。

協議会等がない地区については行政が指導し、まちづくり組織を設立しなければなりません。

町民に事業計画を事前に示してほしいとの意見があります。プランのまちづくり組織の設立スケジュールでは遅すぎます。

問 コミュニティバスへ

町長 幾つかの地区振興会、協議会があり、上志比地区では全体的な組織ができるかと聞いています。

まずは地域でまちづくり組織を立ち上げていただき、その組織を町が支援します。

問 町の地域コミュニティバス運行事業は、平成24年度から次の3カ年複数契約が締結されます。現在のコミュニティバスの運行状況について伺います。

総務課長 コミュニティバス運行事業実施要領により、町内14のルートで、月曜日から土曜日まで、年間296日、運行しています。

運賃は、大人が100円、小中学生は50円、未就学児、60歳以上の方、障害をお持ちの方、その介助の方は無料です。

平成22年度は約5万人の利用者で、今年度もほぼ同程度の利用です。

コミュニティバスのサービス向上を！

広い視点で利用しやすい運行を目指す



永平寺口駅—志比北地区
経由—永平寺口駅

総務課長 利用の実態を分析し、運行ダイヤの変更、増便を検討します。

コミュニティバスは公共交通がない地域の交通

の要望があります。病院等へ行っても帰るバスがないのでダイヤの見直しを、上志比、永平寺、松岡の各地区を超えて運行できないか、等です。これらの要望をどの様に収集し、まとめ、次の契約に反映させるのか、お聞きします。

健康福祉施設への利便性を上げるため、上志比地区ルートの変更、直行便の運行等を検討します。

手段としての補完的な役割です。既存の公共交通（えちぜん鉄道等）があり、地区を超えたコミュニティバスの運行は検討を要する課題です。

11月に実施した利用者アンケートの結果等を反映しながら、地域公共交通会議で十分利用しやすい運行を目指します。

問 運行事業者、学校関係者の要望も取り入れていただきたい。

上志比地区で進められている健康福祉施設へのルートも必要です。

サービスの向上の具体的施策もとに再契約に臨んでいただきたい。

総務課長 地域公共交通会議（警察、区長会、PTA連合会、大学事務局、交通運輸産業労働組合等）でご意見をいただき、十分広い視点で運行を考えます。



長谷川治人議員

問 地場産業の支援を!

答 育成・販路拡大、積極的推進

問 第二回永平寺町産業フェア2011が開催され、今年は昨年より8社多い53の企業が参加された。町内企業の技術力や商品開発に対する意気込みが伝わり大変感動した。

いずれも「永平寺町」の地元ブランド品であり、行政として支え、盛り上げていって頂きたいが、更に、何か具体的な方策を考えているのか。

また、技術力の面では「消防ホースの巻き取り機」が目だったが、今後地元消防団への普及は考えられないか。

農林課長 今後、第一次・二次・三次産業が連携し開発した新商品などを永平寺ブランドとして全国に情報発信、県内外において永平寺物産フェアなどを開催したい。
また、J Aや女性起業グループなど地域の生産者が特産品・特産物等を販売できるよう努め、拠点づくりを町内外に確保し、販路拡大に向けて、

企業、団体を支援していく。機について、自主防災組織等にも普及できるように前向きに検討していく。

商工観光課長 今後、

首都圏に対する売り込み、PR等を充実する。又、商工会とも連携しながら町内企業育成に積極的に取り組む。

消防長 消防ホース巻き取り



消防ホース巻取機

九頭竜川鳴鹿資料館(旧)の管理体制を充実して!

適切な運営を強く要望(国交省へ)

問 今春から魚道観察室への立ち入りが制限されたが町や地元で事前説明があったのか。

また、施設内の展示物その他多種の物が機能しないままになっている。休日の対応も含め、地元やお客様の期待を裏切ることのないよう、きち

つとした体制で管理して頂くよう国交省に対して強く進言して頂きたい。

建設課長 町・地元へ

の事前説明はないが、新聞やホームページ等でお知らせしている。

今後は利用者のニーズを把握し、改善の必要などころは国交省に要望していく。

副町長 町・地元の要望を踏まえた施設であり、適切な運営がなされるよう強く要望して参りたい。



魚道観察室入口

主要事業の周知は、学校の授業で!

「子ども議会」を考慮中

問 11月開催の「議会と語ろう会」の中では様々なご意見やご指摘等賜った。総じて感じたことは、住民に対する説明が不十分だということ。現在ホームページ等々様々な手段で周知されているが、更に効率の良い伝達方法として、学校の授業で取り組めないか。

家族団らんの中で、話題の共有・家族の絆にも繋がり、良い方法と思うが。

学校教育課長 学習指導要領の改正で指導内容が増し行事等精選した教育課程が求められている。新規事業の授業組み入れは現状では難しい。
町長 子どもたちに、町の現状や未来について理解して頂ける方法として、「子ども議会」を行いたいと考えている。町の発展に繋がるように、子どもたちの意見をも十分考慮し町政を進めたい。

総務常任委員会

輪島市視察研修

○防災組織及び防災士の育成に対する視察内容

1 現在の自主防災組織の結成率と活動内容は。

答 現在272地区の内73地区で設立26.8%。

活動内容=◎身近で出来る災害対策①事前の対策(防災・減災)、◎自助・共助・公助、◎地域における防災体制(共助の精神による防災)、◎地域防災力の強化(防災士の養成=防災水準の維持向上と防災意識の啓発)◎防災士の活動。

2 防災士の人数と自主防災組織・官公庁・消防関係・民間組織・事業所毎に防災士がおりますか。

答 地区別組織数と地区別防災士数=73地区・349人

3 自主防災組織に防災士が必要なら、どのような立場で、どのような役割か。

答 ◎フォローアップ研修(災害対応・救急対応・自主防災活動推進)◎防災訓練参加(緊急救護・消火訓練)◎自主防災組織結成促進(自主防災活動事業費補助=補助対象及び補助要件有り)

4 自主防災組織、防災士に対し補助制度の内容は。

答 地域住民の自発的な防災活動を助成する制度において補助要件として防災士を有する自主防災組織である組織に補助することと規定されているため防災士の補助はなし。

構成世帯数=50世帯未満(5万円)・50~100未満(6万円)・100~200未満(7万円)・200以上(8万円)としております。

5 輪島市職員で消防団への加入団員数と加入推進は。

答 現在17名で加入の推進は行っておりません。

6 当市職員の防災士数と防災士の養成の推進は。

答 職員の防災士は35名で養成に係る費用は全額負担としているため市職員ばかり受講させるわけにはいかず、主要課から年間数名の受講を呼びかけている。
(参考)全職員数546で内病院職員数182名



輪島市役所

教育民生常任委員会

行政視察報告書「社会福祉法人 徳充会」

石川県七尾市にある社会福祉法人・徳充会が経営する「青山彩光苑リハビリテーションセンター」(障害者支援施設)・「青山彩光苑ライフサポートセンター」(身体障害者療護施設)・「セレーナ青山」(身体障害者福祉ホーム)の3施設の視察を実施した。

施設開設経過

昭和59年に社会福祉法人・徳充会を設立。昭和60年に青山彩光苑リハビリテーションセンターを50床で開設。平成元年に青山彩光苑ライフサポートセンターを50床で開設。平成9年にセレーナ青山を20室にて開設。

社会福祉法人 徳充会は、身体障害者の社会復帰と自立支援を目的とし、健康な身体障害者施設を目指している。食事はレストラン方式で、メニューも自由に選択することができる。時間が長くかかっても、職員が食べさせるのではなく、自分で食べることを基本としている。

また、障害者ということで、特別扱いをするのではなく、社会ルールを守らせている。

上記の2点を原則とすることにより、過度の手助けをしないので人件費を抑制して黒字経営をしている。

社会福祉施設において行政と民間は敵対ではなく、行政のできないことを民間が実施することが大切である。

身体障害者の福祉施設というと、社会復帰や自立が不可能であり、家族が自宅で介護できない状況になって施設に入所せざるをえないと考えていた。しかし、徳充会の3施設を視察して、障害の度合いにより自分でできることにも個人差はあるが、障害を理解したうえで、少しでも自立できるように機能訓練を計画的に実施していた。

これからの福祉施設は、入所者の自立と社会復帰を目指し、どうしても不可能な部分は介護の手を借りるというような運営方法が望まれる。そうした障害者自立支援施設と授産施設が必要である。



社会福祉法人徳充会

産業建設常任委員会

石川県珠洲市「議会議員行政視察研修」報告

【空き家を活用した移住・定住施策について】

珠洲市は、地勢的に能登半島の最先端に位置し、地場産業は小規模な農林水産業が中心で、過疎化・少子高齢化の進捗が著しい市です。同市は市内の空き家調査を実施し、20軒の借用可能な家を珠洲市空き家ホームページ「田舎暮らししてみんげ?」で紹介。結果19組41名の賃借・売買契約の実績を得ています。同時に短期滞在用空き家「ちよい住み」(お試し)にも取り組み、利用者のうち県外から8割の利用者となりました。

【廃校を利用した大学と連携のための拠点設置について】

珠洲市は、市内の廃校(旧 小泊小学校)を活動拠点に、平成18年10月「能登半島里山里海自然学校」を開校。金沢大学より常駐研究員が赴任しました。平成19年10月「能登里山マイスター」要請プロ

グラムがスタートし、人材を養成。「里山マイスター」として自立させ、地域活性化につなげていっています。2年間のカリキュラムで実施し、5年間で60人の「里山マイスター」養成を目標としています。

地域における変化・効果としては、市民活動の活性化・地域での研修生の活躍・交流、定住人口への波及、教員・研修生等の政策提言への関わりなどが見えてきました。珠洲サポート会→NPO法人「能登半島おらっちゃん」の里山里海」として市民とのつなぎ役を担っています。



珠洲市役所



ホームページで議会紹介 「議員って何をしてるの？」

町議会議員がどのような仕事をしているのか、どれくらいの会議をしているか等、ご存知ですか？永平寺町議会のホームページでは、「議会活動レポート」や「議会改革」のページで議会の仕事・取り組み等を紹介しています。その他にも「キッズページ」では議員の任期、議会の流れ、議場の座席一覧など、写真やクイズを交えてわかりやすく解説しています！

永平寺町議会ホームページ <http://www.eiheiji-gikai.jp/>

地デジ 092ch 行政チャンネル週間番組表

12月議会定例会 再放送

時	2月10日(金)	2月11日(土)	2月12日(日)	2月13日(月)	2月14日(火)	時
7	00 ①町長招集あいさつ	00 予算特別委員会01	00 一般質問(1日目③) 小畑伝議員 原田武紀議員	00 本会議01	00 一般質問(2日目②) 川崎直文議員 松川正樹議員	7
8	31 通常放送	07 通常放送	27 通常放送	21 通常放送	21 通常放送	8
9	00 一般質問(1日目①) 斉藤則男議員 長谷川治人議員 上坂久則議員	00 予算特別委員会02	00 一般質問(1日目④) 川治孝行議員 長岡千恵子議員 酒井要議員	00 本会議02	00 一般質問(2日目③) 滝波登喜男議員 上田誠議員	9
10	43 通常放送	12 通常放送	20 通常放送	40 通常放送	59 通常放送	10
11	00 一般質問(1日目②) 上坂久則議員 多田憲治議員	00 予算特別委員会03	00 一般質問(2日目①) 金元直栄議員 川崎直文議員	00 ③町長招集あいさつ	00 一般質問(3日目①) 滝波登喜男議員 伊藤博夫議員	11
56 通常放送	57 通常放送	45 通常放送	55 通常放送		12	
12	00 一般質問(1日目③) 小畑伝議員 原田武紀議員	00 本会議01	00 一般質問(2日目②) 川崎直文議員 松川正樹議員	00 ③町長招集あいさつ	00 予算特別委員会01	12
13	27 通常放送	21 通常放送	21 通常放送	31 通常放送	07 通常放送	13
14	00 一般質問(1日目④) 川治孝行議員 長岡千恵子議員 酒井要議員	00 本会議02	00 一般質問(2日目③) 渡辺善春議員 上田誠議員	00 一般質問(1日目①) 斉藤則男議員 長谷川治人議員 上坂久則議員	00 予算特別委員会02	14
15	20 通常放送	40 通常放送	59 通常放送	43 通常放送	12 通常放送	15
16	00 一般質問(2日目①) 金元直栄議員 川崎直文議員	00 ②町長招集あいさつ	00 一般質問(3日目①) 滝波登喜男議員 伊藤博夫議員	00 一般質問(1日目②) 上坂久則議員 多田憲治議員	00 予算特別委員会03	16
45 通常放送	55 通常放送		00 予算特別委員会01	56 通常放送	57 通常放送	17
17	00 一般質問(2日目②) 川崎直文議員 松川正樹議員	31 通常放送	00 一般質問(1日目③) 小畑伝議員 原田武紀議員	00 一般質問(1日目③) 小畑伝議員 原田武紀議員	00 本会議01	17
18	21 通常放送	00 一般質問(1日目①) 斉藤則男議員 長谷川治人議員 上坂久則議員	00 予算特別委員会02	27 通常放送	21 通常放送	18
19	00 一般質問(2日目③) 渡辺善春議員 上田誠議員	07 通常放送	00 予算特別委員会02	00 一般質問(1日目④) 川治孝行議員 長岡千恵子議員 酒井要議員	00 本会議02	19
20	59 通常放送	43 通常放送	00 予算特別委員会02	20 通常放送	40 通常放送	20
21	00 一般質問(3日目①) 滝波登喜男議員 伊藤博夫議員	00 一般質問(1日目②) 上坂久則議員 多田憲治議員	12 通常放送	00 一般質問(2日目①) 金元直栄議員 川崎直文議員	00 本会議02	21
55 通常放送	56 通常放送	00 予算特別委員会03	45 通常放送	57 通常放送		22
22						22
23						23

平成24年 第1回 永平寺町 議会定例会 開会

◆日程 2月 28日(火)
3月 5日(月)・6日(火)・7日(水)
8日(木)・9日(金)・12日(月)
15日(木)
16日(金)・19日(月)

◆場所 本庁役場3階 議場

10:00～ 開 会
10:00～ 一 般 質 問
9:00～ 予算特別委員会
10:00～ 本 会 議
予 備 日

※本会議・予算特別委員会が生中継されます。
※日程などは、都合により変更となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

決算特別委員会審査報告

決算特別委員会委員長 川崎直文

平成22年度の決算認定について、平成23年8月30日の第3回町議会定例会において、本委員会に付託されました。

- ① 議案第27号
平成22年度永平寺町一般会計及び特別会計の決算認定について
- ② 議案第28号
平成22年度永平寺町上水道事業会計の決算認定について

審査経過

本委員会に付託された議案第27号、議案第28号の2議案について、平成22年度決算書、成果表、事務報告書の資料に基づき副町長、所管課長、関係職員の出席を求め、現地視察を含め10月4日～11月14日の7日間にわたり慎重に審査しました。

審査にあたっては、

- (1) 議会が決定した予算が適正に執行されたか。
- (2) 種々の施策がどのような行政効果や経済効果があったか。
- (3) 過去の決算委員会の指摘事項が行政に反映され、住民サービスが改善されているか。

などを判断基準としました。

審査所見

審査所見は次のとおりです。

予算に対する執行は適正なものと認められるが、国の施策や社会情勢が目まぐるしく変化することから、今後、財源確保のため更なる賦課・徴収を強化し、財政計画を策定し、適正な事業の選択、実施を求める。

また、行財政改革による平成22年度の削減実績は2億1522万円で、第1次（平成18年～22年）の削減額は18億5千万円となったが、平成23年度からの取り組みとなる第2次の行財政改革により一層強力な推進

を求める。

■歳入

1. 滞納者を個別に精査し、法に基づいた滞納整理を強力に推し進め、税の公平性を保ちながら徴収率のアップに繋げること。
2. 町民の納税意欲を高め、現年度課税の徴収率アップを図ること。

■歳出

1. 国の緊急対策交付金や地域活性化交付金の事業において、町内の経済活性化に繋がるように実施すること。
2. 簡易水道事業と上水道事業が平成24年度に一本化される。早急に簡易水道からの繰出し基準を定めること
3. 松岡地区農業集落排水施設から五領川公共事業に接続は、処理量の超過、設備の老朽化・更新、中部縦貫道路の工事時期を見込み、計画を明確にすること。
4. 幼児園における保育士の正規職員と嘱託員の適正な配員計画を明確にし、過度の嘱託員依存にならないようにすべき。

審査結果

議案第27号及び議案第28号の認定について、11月14日の委員会で（参加委員 11名）10名の賛成、1名の反対・保留となり、審査所見を付して妥当と認め、原案の通り認定しました。

12月13日の第4回町議会定例会において委員長報告を行いました。



浅見トンネル貫通式

編集後記

前回の議会だよりから、議案への賛成・反対討論があった際には、討論を掲載しています。

今回の議会だよりでは、6つの議案に対する討論を掲載しています。各議案に対する各議員の賛成・反対の結果だけでなく、「なぜ反対なのか」、「なぜ賛成なのか」という論点をお伝えすることは、大切な意思表示です。

こしの国ケーブルテレビの行政チャンネルでは、本会議・予算特別委員会の議案や討論を見たいことができず、町民の皆様から討論へのご意見をお聞かせいただき、議会は町の課題、その施策の選択に臨まなくてはなりません。

(川崎 記)

議会広報特別委員会委員

- 委員長 松川 正人
副委員長 長谷川 治
委員 伊藤 博夫・小畑 誠
金元 直栄・川崎 直文
河合 永充・原田 武紀
滝波 登喜男
長岡千恵子(写真担当)